

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)	Aquapel®ガラス処理剤		
会社名	Pittsburgh Glass Works LLC.		
住所	30 Isabella Street Suite 500 Pittsburgh, Pa 15212 US		
担当者 (作成者)	-		
電話番号	お問い合わせ (平日8時~17時) :	+1-800-861-4999	
電子メールアドレス	info@pgwglass.com		
緊急連絡電話番号	米国	+1-760-476-3962	
	ヨーロッパ、中東、アフリカ	+1-760-476-3961	
	アジアパシフィック	+1-760-476-3960	
	アクセスコード	333225	
製品コード	47100, 47101, 47102, 47103, 98990A, 98994, 98989A, 98991A, 98990FR, 98994FR, 94525, 47103, 47104, 47100		
推奨用途及び使用上の制限			
推奨用途	ガラス表面の撥水処理剤。		
整理番号	01-M		

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	GHS分類基準に該当しない。		
物理化学的危険性			
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分2	
	特定標的臓器毒性, 単回ばく露	区分3	麻酔作用
	吸引性呼吸器有害性	区分1	
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分2	
	水生環境有害性(長期間)	区分2	

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚刺激。 眠気およびめまいのおそれ。 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。 長期的影響により水生生物に毒性。

注意書き

安全対策

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 ミスト/蒸気の吸入を避けること。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 取扱い後はよく洗うこと。 環境への放出を避けること。

応急措置

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。 無理に吐かせないこと。 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ, 再使用する場合には洗濯をすること。 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。 漏出物を回収すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候

蒸気は眠気およびめまいを引き起こすおそれがある。 症状には、掻痒感、灼熱痛、発赤、および眼の流涙が含まれる。 長期または反復接触により皮膚が乾燥し刺激されることがある。 暴露して数時間後に化学性肺炎の症状(息切れ)を起こすことがあるので注意する。

国/地域情報

適用法令は第15項参照。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
蒸留(石油), 水素化処理軽物質	64742-47-8	(9)-1700	(9)-1700	60-100

化学式 不明 (64742-47-8)

会社名: Pittsburgh Glass Works LLC. 製品名: Aquapel®ガラス処理剤

5257 版番号: 03 改定日: 2015/02/13

SDS Japan

1 / 5

組成情報

ガス以外の成分は重量パーセントで示す。ガスの濃度は容量パーセントで示す。

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸が止まっている場合、専門家に人工呼吸を設置または酸素吸入を施してもらう。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上流し、その間に汚染された服や靴を取り去る。入手できる場合には石けんを使用しなければならない。刺激が強まったり続いたりする場合は、医師の診察を受ける。再使用する前に衣類を個別に洗濯する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で15分間水洗をする。コンタクトレンズをはずし、まぶたを広く開く。不快感が続く場合は医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口を十分にゆすぐ。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。意識がないまたは痙攣している被災者の口から、物を絶対に与えないでください。医師の指示なしに無理に吐かせないこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

蒸気は吐き気、頭痛および／またはめまいを引き起こすおそれがある。症状には、搔痒感、灼熱痛、発赤、および眼の流涙が含まれる。長期または反復接触により皮膚が乾燥し刺激されることがある。暴露後24時間以内に化学性肺炎の症状（息切れ）を起こすことがあるので注意する。

応急措置をする者の保護

被災者を保温する。医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。

医師に対する特別な注意事項

症状にあった治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤

泡消火剤。乾燥粉末。二酸化炭素 (CO2)。水噴霧または霧状の水

使ってはならない消火剤

消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。

火災時の特有の危険有害性

火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

特有の消火方法

未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護

消火作業のための呼吸用保護具の選択：作業現場に示されている一般的な火災注意事項に従う。火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

一般的な火災の危険性

本製品は引火性または可燃性ではない。火災にまきこまれた場合は燃焼する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。すべての着火源を消す。火花、火炎、熱および発煙を避ける。換気する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。低い場所に保管してはならない。

環境に対する注意事項

製品で水を汚染しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

全ての着火源を排除すること（隣接区域での喫煙、裸火、火花または火炎は禁止）。静電気放電に対する予防措置を講ずること。火花を発生させない工具を使用すること。可燃性物質（木材、紙、油など）を流出物から遠ざける。

大量の漏出：リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。パーミキュライト、砂、土などの不燃性物質を用いて製品を容器に吸収し、後で廃棄する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出：吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。

蒸気は、空気と混合し、爆発性混合物を生成することがある。

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

ミストまたは蒸気を吸うことは避ける。皮膚および眼との接触を避ける。味を見たり飲み込んだりしてはならない。この製品を使用するときは飲食および喫煙をしない。適切な換気がされている場合のみ使用する。取扱い後はよく洗うこと。すべての着火源を排除する。静電気放電防止策を施す。製品を取り扱う時に使用するすべての道具は、接地しておく必要がある。産業衛生に気を配る。

安全取扱い注意事項

適切な保護具を着用する。この安全データシートの第8項に記載された保護衣を着用する。換気が不適切な場合は呼吸用保護具を使用する。

接触回避

強酸化剤、強酸および強塩基。

適切な衛生対策

眼に入れない。皮膚に触れないようにする。本物質を衣服に接触させない。使用中は飲食や喫煙をしない。飲食物から遠ざける。正しい産業衛生と安全規定に従って取扱う。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。涼しい所に保管する。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。現地/地域/国/国際規則に従って保管すること。混触危険物質（本SDS第10項を参照）から離して保管すること。飲食物、動物用飼料から離して保管すること。フタがない、またはラベルの付いていない容器には保管しない。子供の手の届かないように保管すること。直射日光を避ける。

安全な容器包装材料

最初の容器中でのみ保管する(容器を移し替えてはならない)。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露限界値

日本産業衛生学会－許容濃度

成分	タイプ	数値	形状
蒸留(石油), 水素化処理軽物質 (CAS 64742-47-8)	TWA	3 mg/m ³	ミスト。

設備対策

防爆型の機器を使用すること。適切な全体換気・局所排気装置を設置する。職業暴露限界値を守り、蒸気吸入のリスクを最小限に抑える。洗眼設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

空気中の濃度を推奨曝露限界（適用できる場所で）、または許容レベル（曝露限界が確立していない国）を工学技術管理が下回らない場合、推奨マスクを着用しなければならない。換気が不適切な場合は有機ガス用防毒マスクを使用する。

手の保護具

保護手袋を着用すること。ニトリル製手袋が望ましい。しかし液体は手袋を通して浸透することがあるので注意する。頻繁に交換することが望ましい。適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらうこともできる。

目の保護具

サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。大量を扱う場合または緊急時には、全身防護服とブーツが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

液体。

形状

液体。

色

無色。

臭い

炭化水素様の臭気。

pH

データなし。

融点・凝固点

-77 ° C (-106.6 ° F)

沸点, 初留点及び沸騰範囲

218 - 257 ° C (424.4 - 494.6 ° F)

引火点

> 94.0 ° C (> 201.2 ° F)

燃焼性 (固体, ガス)

該当しない。

燃焼又は爆発範囲

燃焼又は爆発範囲－下限 (%)

0.6

燃焼又は爆発範囲－上限 (%)

4.9

爆発下限界 (%)

データなし。

爆発上限界 (%)

データなし。

蒸気圧

データなし。

蒸気密度

データなし。

比重

0.791 @ 15.6 ° C (60.08 ° F)

溶解度

データなし。

n-オクタノール／水分配係数

データなし。

自然発火温度 (発火点)

> 200 ° C (> 392 ° F)

分解温度

データなし。

粘度 (粘性率)

データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性

製品は、通常の保管条件および輸送条件では安定かつ非反応性である。

化学安定度

通常の条件では安定。

危険有害反応可能性

危険有害性の重合は発生しない。

避けるべき条件

混触危険物質との接触。高温を避ける。直射日光を避ける。

混触危険物質

強酸化剤、強酸および強塩基。

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、塩化水素。

11. 有害性情報

急性毒性

蒸気は眼気およびめまいを引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性/刺激性

皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性

直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。

呼吸器または皮膚の感作

呼吸器感作性

入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。

皮膚感作性

この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。

生殖細胞変異原性

本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に関して、変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。

発がん性

本製品は、IARC、ACGIH、NTPおよびOSHAにより発がん性であるとは考えられていない。

生殖毒性
特定標的臓器毒性（単回暴露）
特定標的臓器毒性（反復暴露）
吸引性呼吸器有害性

生殖に対して毒性のある物質のリストに掲載されている成分は含まれていない
眠気およびめまいのおそれ。

入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。この製品の飛まつを飲み込んだり嘔吐によって肺の中に吸い込むと、重篤な化学性肺炎を起すことがある。暴露して数時間後に化学性肺炎の症状（息切れ）を起すことがあるので注意する。

その他の情報

有機溶剤は吸入により体内に吸収され、脳を含む神経系に永久的な損傷を与えることがある。中枢神経系の異常（例えば、協調運動の失調、脱力感、疲労感を伴う麻酔状態）および/または障害を引き起こすおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性
残留性/分解性
生体蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層への有害性

長期的影響により水生生物に毒性。

この製品は容易に生物分解されるとは予想されない。

データなし。

この製品は水に溶けない。製品はすべての表面から容易に蒸発する有機溶剤を含んでいる。

この製品は、光化学オゾンを生産する可能性をもつ物質を含有している。

13. 廃棄上の注意

残留性廃棄物

現地の規定に従い、処分する。産業廃棄物処理業の許可を受けた業者に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を添えて処理を委託する。

汚染容器及び包装

製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。残留している蒸気は火で爆発することがある。この容器のそばで、カット、ドリル、グラインド、溶接を行わないこと。

地域の廃棄規制

内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。

14. 輸送上の注意

IATA

UN number	3082
UN proper shipping name	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. (DISTILLATES (PETROLEUM), HYDROTREATED LIGHT)
Transport hazard class(es)	
Class	9
Subsidiary risk	-
Label(s)	9
Packing group	III
Environmental hazards	Yes
ERG Code	9L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

IMDG

UN number	3082
UN proper shipping name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (DISTILLATES (PETROLEUM), HYDROTREATED LIGHT)
Transport hazard class(es)	
Class	9
Subsidiary risk	-
Label(s)	9
Packing group	III
Environmental hazards	
Marine pollutant	Yes
EmS	F-A, S-F
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送
一般情報

本物質/混合物はバルク輸送されない。

本製品は、少量危険物の条件を満たすため、少量危険物の免除規定が適用される。外装容器に収納した際の容量/質量によっては、少量危険物の免除規定が適用できる可能性がある。

15. 適用法令

労働安全衛生法

有機則

第三種有機溶剤

ミネラルスピリット

通知対象物

ミネラルスピリット

95 - 100 %

表示対象物

該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

消防法

第四類第三石油類(非水溶性液体) 危険等級III

船舶安全法・危規則

有害性物質

航空法・施行規則

その他の有害物質

火薬類取締法

該当せず。

16. その他の情報

引用文献

JIS Z 7250: 2005化学物質等安全データシート (MSDS) - 第一部: 内容及び項目の順序
日本化学工業協会GHS対応ガイドライン、平成20年10月
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

このデータシートに含まれる情報は、現在の科学的および技術的知識に基づいています。この情報の目的は、PGWにより供給された製品に関する健康および安全面の注意を喚起すると共に、製品の保管と取り扱いに対する予防措置を推奨することにあります。このデータシートに記載されている予防措置のあらゆる遵守不履行、または製品のあらゆる誤使用に関して、一切の責任を負わないものとします。